

図書館教育新聞

七月七日 発行 No.2

第二回「読書の集い」朗読会

ボランティアの皆さん による読み聞かせ

期末テスト終了直後、七月一日の四校時に美山中学校第二回「読書の集い」を実施しました。

今年は、美山町内で活動されている「お話ボランティア赤ずきん」の皆さんと、「読書ボランティアおむすび」の皆さんに来ていただきました。

「お話ボランティア赤ずきん」の皆さんは、鶴ヶ岡小学校などで、「読書ボランティアおむすび」の皆さんは、知井小学校などで読み聞かせの活動をしておられます。

前半は、赤ずきんのみなさんが「チェロの木」(いせひでこ・作、絵)という絵本をスクリーンに映しながら朗読してくださいました。美しい色使いの絵と、臨場感のある効果音やチェロの音色、ゆったりとした朗読で、穏やかな、心が澄んでいくような時間でした。

後半、おむすびの皆さんは谷川俊太郎の詩の朗読と、落語絵本から「まんじゅうこわい」(川端誠・文)を劇のように熱演してくださいました。元気いっぱい、笑いがいっぱいで楽しい時間になりました。



「生徒の感想」

☆ぼくは期末テストでものすごく疲れていました。けど、今日本を読んでもらって楽しい時間が過ごせました。「赤ずきん」さんは、小学校の時から読んでもらっていて、久しぶりに読み聞かせしてもらい、なつかしいなと思って聞いていました。「おむすび」さんは、声が大きく、眠気が吹っ飛ばしました。「まんじゅうこわい」では、俳優みたいに上手に役をしておられて、見ていると、つい笑みがこぼれとてしまうおもしろい話でした。

期末テストでつかれていたので、元氣になれました。久しぶりに読み聞かせしてもらって、本当によかったです、これからも勉強がんばろうと思えました。家で親に、「せんべいとジュースがこわい。」と言ってみようと思います。(一-A 男子)

☆期末テストが終わり、少しホッとしている時に、この朗読会があつて、テストが終わったうれしさと、本を読んでもらえるうれしさと、とてもワクワクしていました。格技場へ行き、男女ごとに並んで、みんなと話しながら、「どんな風に朗読してくれはんなのかな」や「おもしろいのやったらいいな」と話はずませていただきました。

最初は、「赤ずきん」の皆さんで、「チェロの木」でした。この本は、読んだことはあったけれど、一人で読むよりも、大ぜいで読んだ方が楽しいし、音楽と本の内容が合っていて、心が落ち着きました。次に、「おむすび」の皆さんでした。谷川俊太郎さんの詩は、前から知っていたけれど、感情もこもっていたし、だんだん早くなって、いつもよりおもしろく感じました。落語絵本「まんじゅうこわい」は、テレビを見ているような感じで、迫力があり、おちもとでもおもしろかったです。皆さんの声がとてもはつきりしていて分かりやすかったです、また来てほしいと思います。本当にありがとうございます。これからも勉強がんばり、本もたくさん読みます。(一-A 女子)

☆私の通っていた小学校にも、読み聞かせのグループがおられて、「赤ずきん」、「おむすび」のみなさんのことも、お知らせの紙などで知っていました。

「赤ずきん」のみなさんが読んでくださった「チェロの木」は外国の本のような描き方の絵で、とても見入ってしまいました。(お父さんが)チェロを作ってくれて本当にうれしかったのだろーなと思いました。少し離れていただけ、スクリーンにも映し出されて、情景が浮かんできたし、場面に合わせて音楽も流れてきて楽しかったです。「おむすび」の皆さんは、最初に詩を朗読されて、一つ一つのやりとりがつながっていくのがおもしろかったです。

「まんじゅうこわい」の本は、見たことはあつたけど、あの展開になるんだと驚きでした。それぞれが言っていく嫌いな生き物は、確かにそうだなあと思っただけ、まんじゅうがこわいと言うなんてどういうこと？と考えたけど、それでみんながまんじゅうを買ってくるなんて、そこまで予想していたとは、すごい！とびっくりしました。「おむすび」の皆さん全員が役になりきって、していらしたので、まるで舞台を見ているようでした。また、次の機会を楽しみにしています。(一-A 女子)

☆「チェロの木」は、自分のこれまでの思い出がよみがえるようでした。忘れてしまったはずの記憶もよみがえって来ました。さらにBGMもとてもきれいで、サウンドもとても合っていて、まばたき禁止の世界へと飛んだような気がしました。

「まんじゅうこわい」では、はじめはとも内容が難しかった。



たのですが、聞くにつれて、そういうことだったのかと分かってきて、とても面白かったです。男性の方が叫んでいた時には、笑いが止まりませんでした。さらに一撃をかけるように、最後全員がガクツとなり、もう笑いのどん底にいました。

言葉のキャッチボールでは、(言葉が)連鎖して、とてもおもしろかったです。また、次の朗読会も読み聞かせをしてほしいです。(二一A 男子)

☆久しぶりの読書の集いで朗読を聞かせていただきました。赤ずきんの皆さんの「チェロの木」では、日本ではないであろう所の人々の情景が見えてきました。チェロでつながる家族や演奏者のふれあいの景色が見えたような気がしました。ゆっくりと読まれるペースからは、おだやかな日常をうかがうことができました。

おむすびの皆さんの「まんじゅうこわい」では、前に読んだこの本を、なつかしく思い出しながら聞いていました。昔の話は、ちよつとかわつたおもしろ話が多く、何回聞いても、またちがった聞き方ができます。一度で終わらず、何度も読めるといい点があります。そんなおもしろさを感じる事ができました。表現の面でも、一人一人が豊かな人情が出てくる演技で、お話なの？、本当なの？といった不思議さを感じるほどでした。

久しぶりの機会で楽しむことができました。

(二一A 男子)

☆「赤ずきん」の皆さんの「チェロの木」は、おっしゃっていたとおり、とてもきれいな色で、深い感じです。だなど思いました。お父さんが手作りのチェロを作ってくれて、それがとてもうれしいというのが伝わってきました。音楽も流してもらって想像しやすかったし、チェロの音が落ちついた感じで気持ちよかったです。

「おむすび」の皆さんが演じてくださった「まんじゅうこわい」は、演じ方がとても迫力があり、驚きました。リアクションが大きくておもしろかったです。表情も豊かで楽しかったです。(二一A 女子)

☆今日の朗読は、テストも終わってホッとしたせい

か、リラックスして聞きました。

「赤ずきん」の皆さんの「チェロの木」は音楽もあって、とてもきれいでした。パツハの「チェロ協奏曲」が流れた時は、私の好きな曲だったので、とてもよかったです。絵もじっくり見ていたら、きれいなのが多かったし、聞いていて、飽きませんでした。演奏会に来たよう、リラックスして聞けたので良かったです。

「おむすび」の皆さんは、三回目ぐらいで、いつもいつも、おもしろいから楽しみでした。今回は小学校の時に読んだことがある詩と「まんじゅうこわい」という、最後には、ああ、なるほど！って思える話でした。「まんじゅうこわい」は、主人公の人のしゃべり方やセリフが、とってもおもしろかったです。ずっと笑いが止まりませんでした。

しゃべる時は、ゆっくりはつきりが聞きやすいんだなあと思いました。表現をする時は、あれくらいオーバーな方がおもしろくてわかりやすいんだなと思いました。今日はありがとうございました。(三一A 女子)

☆「赤ずきん」の皆さんは、「チェロの木」を朗読してくださいました。「チェロの木」は読んだことのない絵本で、この本のいいなと思った所はたくさんありました。特に、人とのつながりを意識しました。お父さんがチェロを作る前に、木を育てる人がいて、お父さんが作ったチェロを弾くチェリストの方がいて、自分、主人公がいて、ということ意識して聞いていると、つながりを感じさせられました。お父さんがクリスマスプレゼントにしようとして作ってくれていたチェロが誕生日までに延びてしまったのは、主人公としては残念だっただろうけど、とてもよかったです。チェロを教える先生になったというおちもよかったです。

「おむすび」の皆さんは、「まんじゅうこわい」を演じながら朗読されていて、大きな声で、聞いている人全体に聞こえるように話されていて、とてもよかったです。演じる時は、感情が相手に伝わるように大きくジェスチャーをされていて、よく伝わってきました。大野先生が演技をされていたところは、大野先生だからこそのおもしろさがあり、そこも楽

しませてもらいました。テスト後ということもあり、とても気軽に聞かせていただけて良かったです。ありがとうございました。(三一A 男子)

☆赤ずきんのみなさんの「チェロの木」という話は、私は初めて知る話でした。絵の色の鮮やかさや、曲を使つての朗読は話の内容が伝わりやすくて良かったです。特に曲を使うと鳥の声やチェロの響きが身近にあるように感じて、とても印象に残りました。また、読み方もゆっくり、はつきりとしていて、すぐに内容が伝わってきました。

おむすびの皆さんの「まんじゅうこわい」は、知っている話で、どんな風になるのだろうと、わくわくしていました。見ていると、体全体を使つて、大きな声だったので、分かりやすかったです。話自体ももちろんおもしろいけれど、動作を見ているのも楽しいことができました。私は落語が好きなので、この話以外にもたくさんのお話を聞いていきたいと思いました。どちらの朗読も感情が入っていて分かりやすかったです。(三一A 女子)

